

中山道晴

Q: 2021 年開館予定の歴史文化施設で、基本計画では「家康公と駿府」を柱とした歴史博物館とのことだが、家康公の展示の特徴はどのようなものか。



A: 特徴は 3 つ。1 つ目は徳川家康公 75 年の人生に焦点を当てた全国初の博物館であること。2 つ目は、幼少期の家康公を育て強い影響力を与えた今川氏とのつながりを語ること。3 つ目は、「家康公研究室」を設け、市民と専門家が一緒になって資料調査などに取り組み、最新の成果を展示に反映させる



とともに日本の家康研究の中心となるよう目指していくことである。



佐藤成子

Q: 「高等教育のあり方検討会」はどのような目的で開催しているのか。また、会の特色はどのようなものか。



A: 東京一極集中が解消されない中、優秀な人材を地域で育成し、地元で活躍できる仕組みを構築することは、静岡市の将来に渡る持続的な成長のカギである。国レベルでの議論をただ待つのではなく、各分野の有識者を集め、市独自で高等教育のあり方を検討する場を設けることとした。

間口、奥行のあるテーマであるため、市が提示した素案に対する意見を求めるという手法は採らず、各委員が論点や解決策を自由に発言するという新たな試みを行っている。

石井孝治

Q: ラグビーワールドカップに向け公認チームキャンプ受入とファンゾーンの準備はどのようなになっているか。



A: 本市では、イタリア代表の公認チームキャンプ地に関する契約を締結した。公認チームが最高のコンディションで大会に臨めるよう、しっかりとした準備を進めていく。

また、ファンゾーンは大型スクリーンによるパブリックビューイングやステージイベント、飲食ブース、ラグビー体験コーナーなどを楽しむことができるイベントスペースで、駿府城公園に設置される。本市の魅力発信や賑わい創出の契機となるよう、引き続き県と共に取り組んでいく。

「静岡市がん対策推進条例」を作成中です

静岡市議会では、全会派から選出した議員を構成員とする検討会を設置し、議員提案による「静岡市がん対策推進条例」の制定を目指しています。

この条例は、市民一人一人ががんの予防や早期発見に努める社会づくりや、適切な医療や支援でがん患者と家族の不安や負担を和らげることを目的としています。検討会では、7 月から条例制定の目的や内容について議論を重ね、医療関係者や患者団体など関係者の意見聴取などを行ってきました。

平成 31 年 2 月議会での制定を目指していますが、平成 30 年 12 月 14 日～平成 31 年 1 月 15 日までパブリックコメントが実施されます。皆様のご意見をお待ちしております。



志政会からは、池邨議員・石井議員が参加しています。

志政会 しせいかい だより

平成30年12月発行

第13号

発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
(内4505)
FAX 054-653-3412

平成31年度当初予算へ政策提言



志政会は 11 月 1 日、田辺市長へ平成 31 年度当初予算への政策提言を提出しました。

少子高齢化が進む中、福祉分野の経費は増加し、財政の硬直化が進む一方、行政需要は増大・多様化しています。人口減少、地方分権の流れは今後加速すると考えられ、本市の責任と役割はますます大きくなっていくと見込まれます。

平成 30 年度は、第 3 次総合計画前期実施計画の最終年度です。後期実施計画のスタートにあたって、前期計画の評価、後期計画の見直しを実施し、また今後予定されている大



規模公共事業については、事業の投資効果を明確にし、市民に理解を求める必要があります。

提言書では、アセットマネジメントの推進や清水区の医療体制の強化、広報活動の強化など 40 項目にわたり要望しています。この提言にあたっては、各種団体との意見交換会及び行政施策先進市町の視察を行い、本市の進む方向性、市民ニーズに応えるべく会派内で議論を重ねとりまとめました。

(以下、提言抜粋。詳細は会派ホームページに掲載しています)

1 自治体経営の基盤強化

1. 自治体経営体質強化

(1) 新たな行政需要に対応する多様な人材の確保

人口減少対策、静岡市PR、観光戦略など専門性に加えて、継続して施策を遂行できる人材確保に向けて、人事制度・人材育成プラン等を検討すること。

(2) アセットマネジメントの効果的な運用

ライフサイクルコストの最小化を目指す体系的なマネジメントシステムの確立を早期に実現し、施設統廃合の方針を示すこと。

2. 重点事業計画等の策定

(1) 都市拠点整備に向けたビジョンの策定

(2) 広報活動体制整備

① 広報コミュニケーションの配置 ② 戦略的広報のフレームワークの設定 ③ 広報活動拠点の整備

(3) ドローンの活用／業務遂行の手段

① ドローン活用検討会を立ち上げ、ドローン活用方法について検討すること
② ドローンを運転できる人材を育成すること



Ⅱ 安心・安全

1. 防災・消防・安全

- (1) 本市の事務事業・公共施設のBCP策定
(2) 大規模地震発災時・発災後の課題の解決と復旧に向けた取り組み

- ① ボランティアセンターの整備
(ア) サテライトの場所の確保（大学との連携）
(イ) ボランティアの宿泊場所、駐車場の確保
(ウ) リーダーとなれる人材不足／災害現場経験者の育成
② 発災時のけが人受け入れ体制を設計すること

2. 健康福祉

- (1) 清水区の医療体制の確立及び桜ヶ丘病院への対応

- ① 清水病院の財政基盤強化
② 桜ヶ丘病院の進捗の見える化
③ 共立蒲原総合病院の財政基盤強化
(2) 高齢者の日常の居場所・拠点づくり



現在の桜ヶ丘病院

3. 生活・環境

- (1) 空き家対応策について

- ① 空き家を災害用の賃貸住宅として利用できるように、仮住まいの供給数の把握と必要な空き家確保量の調査検討を始め、空き家等の管理と利活用計画を策定すること
② 市営住宅など公的賃貸住宅の利活用する方法を検討すること



Ⅳ 賑わい・活気

1. 交流・観光

- (1) 国際海洋文化都市として、清水港120周年にあわせ各種行事を積極的に展開
(2) 全国学生応援団を応援する街「静岡市」

- ① 2020年オリパラ開催年における「全国高等学校応援団フェスティバル in 静岡市」開催に向けて、関係団体と親密な関係を構築し事業を推進すること
② オクシズ利活用による首都大学の応援団（スポーツ）合宿の誘致に取り組むこと

- (3) 二峠六宿の活用と、東海道57次との連携

来年2月に開催される「全国街道交流会議全国大会 in 静岡市」を機に東海道57次との連携体制を整備し、全世界に東海道の魅力を発信すること。

2. 商工・物流／産業経済

- (1) 中小企業支援策として、実効性のある計画策定に向けた懇話会等の設置

策定中の中小企業振興条例に、中小企業経営者からの意見聴取手続きならびに意見を反映する手続きを条項に盛り込むこと。

- (2) 地域企業の人材確保の促進

市内学生や求職者が地域業の情報を得ることができるようリクルートサロンの常設など、情報発信を強化すること。



Ⅲ ひ と

1. 文化・スポーツ

- (1) スポーツでがんばる子どもへの支援拡充
(2) グランドゴルフ全国大会誘致に向けた取り組み推進

2. 子ども・教育

- (1) 子育て支援策の充実

- ① 保育士確保に向けた待遇改善
② こども医療費の無償化と高校生医療費助成導入
③ 発達障がい発見から治療までの医療体制強化
発達障がいは、早期に発見し速やかに治療することが重要なことから、医療体制を強化すること。

- (2) 小中学校への空調機設置について

- ① 特別支援教室への早期設置推進
② 空調機設置に際しては、市内企業へ優先的に発注すること。また市内で生産している製品を優先的に採用すること



- (3) 教員の多忙化対策推進

- ① 校務支援システムの課題の把握と早期対策推進
② 事務専門職員、スクールサポートスタッフの配置

- (4) 特別支援学級への対応

- ① 通級指導担当教員の充実
② 自閉情緒学級の定数8名の解消
③ 特別支援教育コーディネーターの定数拡充 他



Ⅴ ま ち

1. 社会資本利活用

- (1) 清水港臨海部整備に向けた民間企業との連携強化

清水駅・港周辺のグランドデザインを早急に示し、清水駅周辺民間企業と共に活性化に向けた話し合いをする場を作り、継続して協議を行うこと。

2. 都市・交通

- (1) 桜橋架け替え工事に伴うエレベーター設置

- (2) 学生が安心して通学できる道づくり

- ① 常葉大学草薙キャンパスに行くための国道1号線横断用道路を早期に整備すること。
② 学生の自転車通学路において、安全に走行できる道を整備すること。

- (3) 交通弱者、買い物弱者対策の推進

- ① 高齢化社会を迎えるにあたって、市街地の交通弱者、買い物弱者対策が課題である。運転免許返納した方が安心して外出できるバス路線を市民と一体となり、確保すること。
② 65歳以上の方が、納税額に応じて交通機関が利用できる敬老優待乗車制度を導入すること。



自主運行バスイメージ

- (4) 大坪新駅の設置

- (5) 国道一号線南北道路の整備促進



11月補正



一般会計補正予算59億9,830万円を追加 台風被害復旧や小学校エアコン設置 今川義元公生誕五百年祭推進事業などに

■台風24号による災害復旧事業 … 8億417万円（一般会計7億8,747万円、事業会計1,670万円）

9月30日の台風24号の豪雨及び暴風により被害を受けた施設を復旧する。市の試算では、台風24号での被害は18億8千万円。路肩が決壊した道路の改修、スポーツ施設や河川での土砂除去、林道や治山施設での倒木除去など、計221か所の復旧に充てる。



（主）井川湖御幸線



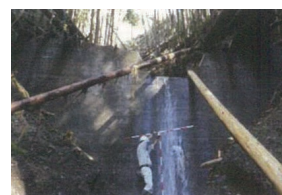
（主）南アルプス公園線



中原スポーツ広場



中島テニスコート



治山施設

■「今川義元公生誕五百年祭」に対する負担金 … 1,800万円（債務負担行為 6,600万円）

- ① 今川復権まつり

【日時】 2019年5月3日～6日
【場所】 駿府城公園内及び周辺

【今川復権まつり（駿府城公園）】



駿府工芸市



茶道・香道体験

- ② 今川シンポジウム

今川義元公の命日にシンポジウムを開催
【日時】 2019年5月19日
【場所】 静岡市民文化会館
【内容】 講演会、子ども達の今川研究発表

- ③ 周知啓発事業

今川義元公の認知度を高めるための啓発事業及び今川義元公生誕五百年祭のプロモーションの実施
【内容】 TV・新聞でのPR、書籍の発行等



ステージイベント
（地域の伝統芸能、能、狂言、雅楽等）



和の灯り

今川
武道館



（フリースタイルフットボール、スポーツチャンバラ等）

■小学校へのエアコン設置費 … 39億3,422万円

静岡市は2021年度までに全市立小中学校にエアコンを設置する方針だったが、国の補正予算案に盛り込まれた臨時特例交付金が本年度限りとされたため、エアコン設置を1年前倒しする。今回の補正予算では、小学校86校1,289教室分の設置費を計上。2019年度中の設置完了を目指している。また、中学校は2020年度までの完了を目指し、今後予算計上する。

■市立こども園へのエアコン設置費 … 7,927万円

市立こども園におけるエアコンが設置されていない保育室及び遊戯室14園23室にエアコンを設置する。2019年度設置完了を目指している。



■小中学校ブロック塀撤去費 … 2億7,987万円

小中学校のブロック塀のうち、危険・不適合のブロック塀については9月補正で対応済みであるが、県の基準で適合とされたブロック塀のうち、高さ80cmを超え4段以上のものを撤去し、目隠し・メッシュフェンスを設置する。【対象校】 小学校30校、中学校14校



ブロック塀イメージ